

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	27.大阪府
市区町村名	27100大阪市
自治体区分	指定都市

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
27100大阪市	③学校と家庭の課題	03 読書習慣の定着・読書体験の充実	令和3～5年度の「全国学力・学習状況調査」結果では、「学校の授業時間以外の読書時間」について、「全くしない」と約3割の児童が回答するなど、読書習慣が定着していない状況がある。また、学校授業以外で、児童が主体的に読書する習慣作りが学校と家庭の共通課題となっている。	宿題、読書・調べ学習等を行う「自主学習タイム」を全活動室において設けるとともに、「読書タイム」の導入、「本の読み聞かせ」、「本の読み聞かせ」、「学校図書室の利用」などの取組を行うことにより、読書習慣の定着や読書環境の充実を図っている。	これまでの取組を引き続き継続することに加えて、活動室内に「おすすめ本コーナー」や「面展台」の設置など、児童が自ら本を手にとって読みたくなるような環境整備の取組をすすめることで、より一層読書環境の充実化を図る。	学校授業以外で、日常的に読書活動を行う児童が増える。	「全国学力・学習状況調査」での「学校の授業時間以外の読書を全くしない」と回答する児童の割合の減少 〔「大阪府教育振興基本計画」「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」における目標「全くしない」と回答する児童の割合 令和7年度末23.5%〕	31	%	30	25 (※)	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた。 ・宿題、読書・調べ学習等を行う「自主学習タイム」や、読み聞かせ・学校図書室訪問等を行う「読書タイム」の導入により、全活動室において児童の読書習慣の定着化が図られた。また、「指導員の読み聞かせ」や「おすすめの本コーナーの設置」などの取組を実施する活動室が増えており、多くの活動室が児童の読書への興味・関心を引き出そうと工夫している。 ・一方で、「面展台」の設置や「指導員がおすすめ本にポップを貼付」など、昨年度から実施活動室数が増えているものの、未だ半数に満たない取組も見受けられることから、引き続き読書習慣の定着化に向けての環境整備をすすめるため、各活動室と連携のうえ、次年度はさらなる取組み数の増加をめざし、学校の授業時間以外で読書を行う児童の増加に繋げていきたい。 ※本年度の実績値については、全国学力・学習状況調査において集計されていないため、大阪市小学校学力経年調査による集計値を用いている。	https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000624226.html	